



かがやき



学校教育目標： 確かな学力と豊かな人間性をもち、自ら伸びる子どもの育成

自ら学ぶ

認め合う

元気

参観日ありがとうございました

《No.12》 令和8年2月2日



1月28日(木)は、今年度最後の授業参観でした。お仕事等でお忙しい中、たくさんの保護者の方がご参観くださり、大変ありがとうございました。各学年、様々な教科・内容で授業をしましたが、子どもたちの1年間の成長を実感していただけたでしょうか？本校が、子どもたちに身に付けさせたい資質・能力である主体性・協働性・表現力を身に付けた姿を観ていただけたのではないかと思います。

授業参観後は、学級懇談会を開き、今年度一年間の子どもたちの成長について、学級で語り合う時間を設けました。短い時間でしたが、学校での子どもたちの様子をお伝えし、家での子どもさんの様子も聞かせていただき、子育ての悩みや各家庭で取組等を知ることができました。

来年度は、保護者の皆さんの交流がさらに深まり、子どものことをしっかり語り合えるつながりを充実させる機会が増えるような計画もしています。今後とも、保護者の皆さんと日常的にやりとりをしながら、子どもの成長を支えていきたいと考えますので、よろしくをお願いします。



おくびの風一座 恒例「新春カルタ大会」



1月14日(水)の読み語り朝会で、「おくびの風一座」の皆様による恒例「新春カルタ大会」を開きました。2階ホールを会場に、ふれあい班(縦割り班)の対抗戦で行いました。カルタは、生活のこと・交通安全のことが書いてある大型カルタでした。

はじめに3班ずつによる予選を行った後、職員チームとの決勝戦を行い、見事2班が優勝しました。子どもたちは真剣に読み札を聞き、一生懸命に絵札を取り合い、みんな笑顔でいい時間を過ごすことができました。



コミュニティスクール あいさつウィークの取組

本校は、塩町中学校区に属し、1中学校4小学校で小中一貫教育を進めています。そして、塩町中学校区は今年度からコミュニティスクールとして、地域と学校がより連携・協働した取組を進めています。

その一つとしてあいさつ運動に取り組んでいます。1月最後の1週間を「塩町学区あいさつウィーク」と位置付け、気持ちの良いあいさつで学校の1日をスタートさせました。

本校でも、児童会執行部、学校運営協議会委員、民生委員児童委員の皆さんが児童玄関前に立ち、元気の良いあいさつで子どもたちを出迎えてくださいました。



子どもの学びの応援団 ありがとうございます！

1月15日、3年生は図工で「のこぎりザクザクつないでつけて」の学習に取り組みました。初めて木工作品にチャレンジするとあって子どもたちはワクワクです。のこぎりを初めて使う授業を支えてくださったのは、「尾首山憩いの森づくり実行委員会」の6名の皆さん。のこぎりの持ち方や力の入れ方など、子どもたちにわかりやすく指導していただき、怪我無くザクザク木材を切ることができました。

本校では、子どもたちの学びを様々な方にいろいろな方法で応援していただいています。



国内初

CO2 地域循環プロジェクトの取組



本校の5・6年生がチャレンジする「CO2地域循環プロジェクト」学習。これは、三次市環境政策課が中心となり、広島に本社があるマツダ株式会社と神杉小が共同で進める未来に向けた環境の取組です。1月26日（月）マツダが研究開発を進めているCO2を回収し再利用する取組についての説明を聞き、三次市ができることの提案を受け、神杉小の5・6年生が実証実験を行う内容です。実験は、CO2を再利用して野菜（リーフレタス）を育てるといふものです。

国内初のCO2再利用実証実験は、3月中旬まで続き、野菜の生育を観察していきます。



三次市学力到達度検査の実施

1月13日（火）14日（水）の2日間、三次市学力到達度検査が行われ、三次市内の小中学校生が一斉に受けました。小学校では、3～6年が国語、社会、算数、理科を受けました。この検査は、児童一人一人の教科ごとの理解度を把握し、今後の学習支援や授業改善に役立てていくために行っています。各個人の結果は、2月上旬に返ってくる予定ですので、児童にはもちろん、保護者の方にもお伝えします。